

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県・栃木市	(栃木県) 90000 (栃木市) 92037	1~2	平成19年度～ 平成23年度	平成19年度～ 平成22年度
活性化計画の区域				
<p>柿の木地区活性化計画は、栃木県栃木市柿の木地区の受益 22.2ha を計画区域とし、農業用排水施設及び農道を保全・整備することにより、効率の良い作業形態を確立し、農業生産性を向上させることにより農業所得を増加させて安定した農業経営の持続が図られる。</p> <p>これにより、農家人口の減少を抑制し、当該地域の安定化を促進するものである。</p>				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	22.2ha	22.2ha	100%	

(コメント)

計画作成時における目標値を100%達成できた。

また、平成21年度現在の集落農家戸数173戸を、平成24年度も維持することを目標としており、平成24年1月現在の集落農家戸数を農業委員会選挙人名簿を元に確認した結果、1戸増の174戸であった。

当該地区の整備により生産性の高い農業基盤が確立したことで、今後においても地域住民の定住化促進が期待できる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
《柿の木》 農業用排水施設 《大宮北》 土地改良施設保全	《柿の木》 農業用排水施設 L=871m 《大宮北》 農道工 L=1,021m W=5.0m			《柿の木》 栃木市東部土地改良区 《大宮北》 栃木市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
《柿の木》 栃木市東部土地改良区 《大宮北》 栃木市	平成19年度	平成20年度	平成21年3月24日	
	平成22年度	平成22年度	平成23年3月22日	
事業の効果				
<p>《柿の木》 農業用排水施設の整備により良好な水管理が可能となり、効率の良い作業形態が確立したことで、維持管理費の節減とともに農業生産性の向上に効果があった。</p> <p>《大宮北》 農道保全対策整備により、営農及び集出荷施設への輸送体制が確立するとともに、農業機械の大型化が可能となり、安定した営農の持続に効果があった。</p>				

3 総合評価

(コメント)

《栃木県》

本事業により、各種条件整備され機能が確保された農地が増加することにより、地域における安定した農業経営の持続が期待できる。

《栃木市》

本事業により、農道の舗装や用水路の整備をしたことで、維持管理費の軽減や効率的な水管理が可能となり、農家の生産意欲の向上と農業経営の安定が期待できる。

4 第三者の意見

(コメント)

地域の農業を持続させるには、農道や水路など生産基盤の整備は不可欠であり、本事業の実施により、農業生産性の向上のみならず、農家人口の減少抑制につながったと考えられるため、評価の内容は妥当である。

(栃木市農業委員会 会長)